



病児保育室「はる」のご案内

保育室

南多摩病院では、小さなお子様が病気になり、仕事の都合や傷病、出産、冠婚葬祭などの理由で家庭での育児ができない場合に、医師、看護師、保育士のもとでお子様を一時的にお預かりする病児保育室「はる」を併設しています。八王子市の委託を受け開設した 2014 年 4 月から現在までの利用者数は、延べ 3,800 名以上と多くの方にご利用いただいております。

ご利用案内

- ・開 室 日…月～土曜日（祝日・年末年始を除く）
- ・保育時間…9：00～17：00
- ・延長保育…8：00～9：00、17：00～18：00
- ・定 員…7名



対象のお子様

生後 57 日目～小学校 3 年生で、病中または病気の回復期にあるお子様が対象となります。しかし、以下の診断を受けた場合はお預かりできませんのでご注意ください。

- ✕ 麻疹、風疹
- ✕ 新型コロナウイルス感染確定者
- ✕ 新型コロナウイルス感染確定者の濃厚接触者に特定された者

新型コロナウイルスに関しては、市内、国内の感染状況により受入基準を見直す場合があります。



ご利用方法

ご利用前に、八王子市子ども家庭部保育幼稚園課（042-620-7248）に事前登録が必要です。原則前日予約制になりますが、空きがあれば当日受入も可能です。 ※土曜日は当日受入不可

① お子様の具合が悪い

② 医療機関を受診し「診療情報提供書・病児病後児保育連絡票」を発行してもらう

③ 病児保育室「はる」に予約申込（042-663-0111：南多摩病院代表番号）
予約受付時間…平日 8：00～17：00、土日祝 12：30～16：00

④ 予約完了！

ご利用にあたっては、お子様、保護者の方の検温・消毒等、感染予防にご協力をお願いいたします。その他、ご利用料金やお持ち物等のお問い合わせ、ご相談などはお気軽にお電話ください。

これからも、衛生的な環境の中でお子様が安心して過ごせる保育室を目指しながら、保護者の方々の子育てと就労の両立を支援してまいります。



医療法人社団 永生会



南多摩病院広報誌

令和 3 年 2 月 第 29 号

みなみ じゅう し せい

南 十 字 星

発行・編集 / 南多摩病院 広報誌作成委員会 042-663-0111（代表）

〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-10-1

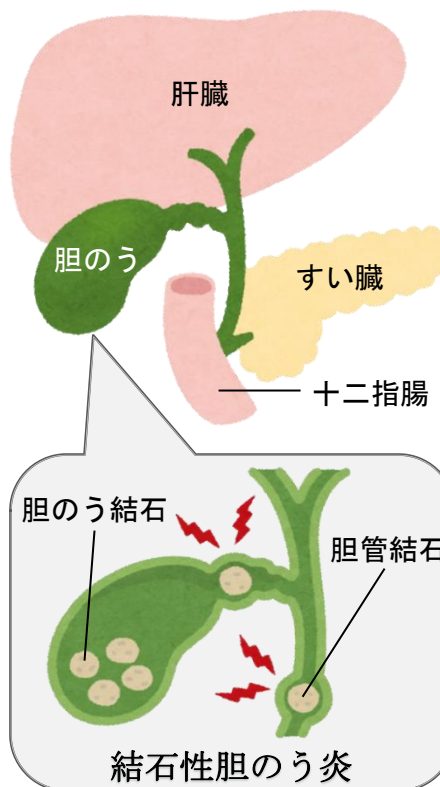


軽視できない胆のう結石

やまもと たかつぐ
外科 山本 隆嗣

はじめに

胆のうに石（コレステロールやビリルビンの結晶化）が発生し、その石が何らかの症状を起こすことを胆石症と言います。胆石症で炎症所見も伴うものを胆のう炎と言います。胆のう炎は重症化することが多く、今回は胆のう結石から起こる胆のう炎を説明します。



結石性胆のう炎

胆のうは肝臓で作られる胆汁という消化液を一旦溜め、濃縮させてから十二指腸に排出させる臓器で、肝臓の下に存在しています。なぜ胆のうの中に石ができるのかははっきりわかりませんが、コレステロールやビリルビンの結晶石が胆のう内に蓄積し、胆のうの入り口をふさいだり、胆のうの粘膜を刺激したり、傷つけたりして胆のう炎を起こします。時には胆のうから胆管と言う場所に転げ落ちて、胆管炎も起こすこともあります。症状としては、腹痛、吐き気、食欲低下、だるさ、発熱、黄疸などが知られています。



また、胆のう炎は細菌感染を伴うことが多く、そのほとんどが腸内細菌です。胆のう内の菌はすぐに肝臓から全身にばらまかれ、菌の作る毒素や有害物質で敗血症や播種性血管内凝固症候群、多臓器不全も引き起こしていきます。当院の去年のデータでも、胆のう炎で入院した患者さんの 54% 以上が中等度・重症胆のう炎で、25% に胆管炎を合併し、53% の患者さんの胆汁から菌が検出されています。

敗血症

血液に細菌が入って全身に回り、身体の抵抗力が負けて重い症状に陥った病気。

播種性血管内凝固症候群

全身の細い血管に血栓が生じたり、過度の出血症状が見られたりする重篤な合併症。

多臓器不全

身体にとって重要な複数の臓器が障害されて働かなくなり、生命維持に重大な障害を及ぼす状態。

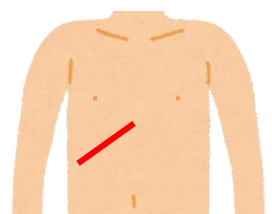
無症状性胆のう内結石

一方で、検診や人間ドック、他の病気の検査中に見つかる無症状の胆のう結石もあります。急性胆のう炎と違って、急いで治療する必要はありません。しかし、無症状であっても、一年経る毎に1～3%の方に症状が出てしまい、5～10年で約4割の方が胆石症となり、やがては胆のう炎になってしまいます。

診断と治療

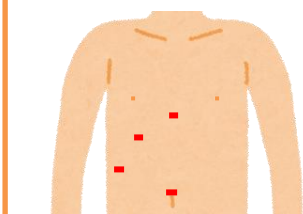
採血検査やMRI検査、CT、超音波検査で石の存在部位と炎症の広がりを診断します。最も良い治療は胆のう摘出で、最近は腹腔鏡下手術で行うことが多くなっています。全身麻酔で腹部に4つの小さなキズを作って、ここから手術鉗子や腹腔鏡カメラを入れて1～3時間で胆のうを摘出します。小さなキズですので術後の痛みも短く、全身の回復も早く、患者さんにかかるストレスも少ない手術です。当院の去年のデータでは93%の患者さんが腹腔鏡下胆のう摘出術で手術を施行されています。

開腹胆のう摘出術



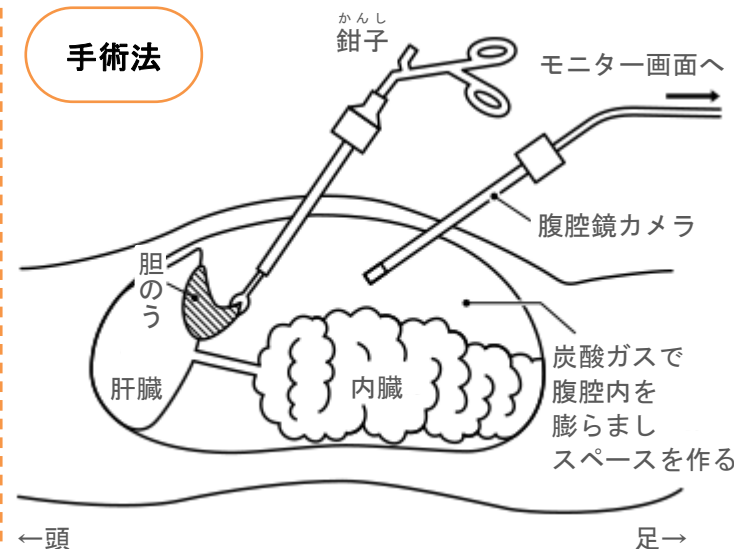
- 傷跡が大きい。
(10～15 cm)
- 痛みが強い。

ふくくきょうか 腹腔鏡下胆のう摘出術



- 傷跡が小さい。
(1～2 cm が 3～4箇所)
- 痛みが比較的少ない。

手術法



しかし、胆のう炎が重症化し、胆管炎や敗血症、多臓器不全などを引き起こしている場合はすぐに手術ができず、抗生物質を使用したり、経皮経肝胆のうドレナージ術（PTGBD：右腹部から肝臓と胆のうを穿刺してチューブを胆のうに入れ、汚染胆汁を体外に排出する）を行ったりして、鎮静化をはかり、その間に手術に耐えられる体（耐術能）かどうかを調べた後、手術になります。もちろん耐術能がなければ手術はできませんし、胆のう炎がひどければ開腹胆のう摘出術となったり胆のうの横にある胆管も一緒に切除（胆管空腸吻合）することになります。当院の去年のデータでも、高齢で多くの合併症を抱えた重症の患者さんでは、開腹手術になったり、胆管空腸吻合となったり、PTGBDのみで治療を終えざるをえなかった方が残念ながら数%存在します。

おわりに

結石性胆のう炎や胆石症などの症状があれば、早めに手術することをおすすめします。また無症状であっても、歳を経るにしたがって胆のう炎を起こす確率は高くなってきます。胆石が見つかったら消化器内科や消化器外科、肝胆膵外科の専門医にご相談することをおすすめします。



スムーズに眼科を受診するために

視能訓練士科

眼科では様々な症状の患者さんが来院されます。自分の症状に対し、どのような検査が行われるかを知ることによってスムーズに検査・診察を受けることができます。『受診したけれど検査が上手くできなかった』とならないために、受診前にどのような準備をしておけば良いかをご紹介します。

検査の種類と事前準備

検査が必要である主な症状

- ・見えにくい
- ・黒いものが飛んで見える
- ・視野が欠けた
- ・ものが2重に見える、歪んで見える
- ・糖尿病のため眼科を勧められた

主な検査

- ・視力検査
- ・眼圧検査
- ・視野検査
- ・眼底検査
- ・眼底写真、断層写真（OCT）…など

状況に応じてこれらの検査を組み合わせで行います。



視力検査、眼圧検査、視野検査などはリラックスして行うことで正しい結果を出す事ができます。寝不足や疲労感が受診日に残らないように、前日はしっかりと睡眠をとりましょう。

コンタクトレンズを装着している方は、診察や検査の際に外していただきます。受診当日はコンタクトケースと保存液の持参、または替えのコンタクトレンズを持参していただくか、眼鏡で来院してください。

眼底検査の注意点

糖尿病の患者さんや黒いものが飛んでいるといった症状の患者さんは、眼底検査を行います。眼底検査とは散瞳薬を点眼し、瞳孔を広げた後で、網膜に異常がないかを見る検査になります。個人差はありますが、瞳孔が開くと4～5時間ほど視界がぼやけ、眩しさを感じ、ピントが合いにくくなります。その状態での運転は危険なため、車で来院されると眼底検査ができません。

以下、よく起きる事例をご紹介します。

眼底検査 NG 事例①

糖尿病になり、目の精査のため眼底検査希望で来院したが、車を運転してきたため今日はできないと言われた。



眼底検査 NG 事例②

黒いものが飛んでいる等の症状で受診したが、受診後に手元作業の仕事があると伝えたところ、眼底検査は次回になった。



このような『検査ができなかった』という事態を防ぐため、眼底検査を行う際は徒歩や交通機関を利用しての来院をお願いしています。また、帰宅する際の眩しさ対策としてツバのある帽子やサングラスを持参して頂くと眩しさを軽減することができます。



眼科ではこの他にもたくさんの検査があります。患者さん自身にお答えいただく検査も多いため、説明がわからない、検査が難しい、などお困りのことがあれば、お気軽に眼科の検査技師（視能訓練士）にお尋ねください。